



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2018-19年度RI会長: パリー・ラシ / 地区ガバナー次野 宗司
加古川ロータリークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町満之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成30年9月18日(火) 晴 No. 10



▲会長の時間



▲中本広太郎氏



▲青少年奉仕委員会の卓話

会長挨拶

会長 岡田 義則

こんにちは、はじめに本日の講師神戸RC中本様、そして神戸西RCの武井様ようこそ加古川ロータリークラブへ、

中本様、本日のプログラム、よろしく願いいたします。本日は青少年奉仕の担当となりますが会長の時間で青少年奉仕の話をするとは付け焼き刃のお話しか出来ませんので、中本様にお任することにして、本日は、私の「くだらない」お話をいたします。とは言っても「くだらない」という言葉の語源のお話です。

先日大庫隆夫君とある同窓会支部の総会参加で奈良に行った時のことです。会が終わってからせっかく奈良の地まで来たのだから珍しいところへ行こう！と、お酒を飲めない二人、いや飲んではいけない二人は、ある人のご紹介で檜舎（かしや）というお店の美味しい和菓子のフルコースを御馳走になることになりました。カウンター越しの目の前で店主の楽しいお菓子にまつわるお話を聞きながら、甘い物を食べてはいけないHbA1cが7近い糖尿病？の二人が酒も飲めず、更にそれ以上身体に悪い物を「和菓子はヘルシーだと信じて」食してまいりました。1時間30分のコースを堪能して満喫してまいりました。

その中で聞いたお話しが 「くだらない」の一節でした。

上方から関東に送られるものを「くだり物」と言い、その中でも清酒は灘や伏見が本場である為、「くだり酒」と呼ばれていた。反対に関東の酒は味が落ちる為「下らぬ酒」と言われ、まずい酒の代名詞なり、転じて現在の意味となったという講釈を聞かされました。『なるほど面白いお話ですね。これは会長の時間で使える！』と思い、そこで語源は本当なの？深く掘り下げてみよう！と思いました。(DEEPEN)

説は後三つあって、二つ目は、日本に農作物を伝えたのは現在の韓国にあたる百済の人々で百済の人々を頭の悪い人としていた為、頭が悪く話の通らない人を「百済でない人」と呼び、略されて「くだらない」となった説。一般的に昔の否定は「ぬ」であり、名詞を「ぬ」で否定することは考えられないことと、「下らぬ」という言

葉は使われる遙か前から、「くだらない」が使われていたことになる為、この説は考えにくい。

三つ目は、仏教に「ダラ」という九つの説があり、その教えが一つもない行為を「ダラがない行動」と言ったことから、「くだらない」に転じたとする説もあります。日本ではダラの教えがはっきりとしていない為俗説と考えられています。

四つ目の説は、くだらないは、動詞「下る」に打ち消しの助動詞「ぬ」がついて「くだらぬ」、「ない」がついて「くだらない」となった。

「下る」には通じるという意味を示す場合があり、それを「ない」で否定して、「意味がない」「筋が通らない」などの意味となり、「取るに足りない」の意味に転じたという説で、これが一番正しいとされています。

以上、これで会長の時間を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

幹事報告

- 1) BOXにハイライト米山、「月間神戸っ子」をいれておりますのでご覧いただきます様
お願い申し上げます。
- 2) 加古川ライオンズクラブさんの会報頂いております。回覧しますのでご覧下さい。

ニコニコ



省	略	☺	本日は、お招きいただき、ありがとうございます。よろしくお願 いします。
省	略	☺	いつも鶴田さんにお世話になっております。
省	略	☺	地区青少年委員会副委員長 中本様、本日のフォーラムよろ しくお願ひします。
省	略	☺	武井様ようこそ加古川RCへ、ごゆっくりお楽しみ下さい。
省	略	☺	鶴田会員、本日のフォーラムの準備ありがとうございました。
省	略	☺	中本地区青少年奉仕委員会、副委員長様、本日は大変お世 話になります。
省	略	☺	神戸西RC武井様ようこそ加古川RCへ、ごゆっくりおくつろぎ 下さい。
省	略	☺	地区青少年奉仕委員会副委員長、中本広太郎様ようこそいら っしゃいました。
省	略	☺	中本さん武井さんようこそ、中本さん青少年の話5分位であとゴ ルフの話でもいいですよ。
省	略	☺	中本副委員長、よろしくお願ひいたします。
省	略	☺	武井さん、ようこそ加古川ロータリーに。
省	略	☺	テーブルの花いただきます。

以上12件 ¥21,000-
本年度累計¥549,000-

出席委員会

☆ 今	週	会員数 78 名 出席 40 名 出席免除 21 名 欠席 17 名 70.17%
☆ 欠	席	者 省略
☆ 前	々	週 会員数 78 名 出席 56 名 出席免除 13 名 欠席 9 名 86.15%
☆ ゲ	ス	ト RI第 2680 地区 青少年奉仕委員会 副委員長

- ☆ ビジター 中本 広太郎氏(神戸RC)
RI第 2680 地区 青少年奉仕委員会 青少年交換 委員
- ☆ メークアップ 武井 宏之氏(神戸西RC)
加古川中央 9/13 今村、水埜、穴田、藤本陽、田辺、山本、竹本

親睦活動委員会

- 例会場当番
- 9月25日(火) 田辺、大山
- 10月4日(木) 前川真、芝本



プログラム委員会

本日9月18日(火)	9月25日(火)	10月2日(火)	10月9日(火)
フォーラム ゲスト卓話 「地区青少年プログラムについて」 第 2680 地区青少年奉仕委員会 副委員長 中本 広太郎氏	新会員自己紹介 穴田・松井 担当	例会変更 3クラブ合同例会 10月4日(木) 午後6時～ 於;加古川プラザホテル	フォーラム 米山記念奨学会 担当

* * * * * 10月プログラム * * * * *

月日	行事	備考
10月 2日(火)	例会変更	3クラブ合同例会 10/4(木)
10月 9日(火)	フォーラム ゲスト卓話	米山記念奨学会委員会担当
10月16日(火)	例会変更	親睦旅行 10/13～14(土日) 親睦活動委員会担当
10月23日(火)	卓話	田畑 担当
10月30日(火)	卓話	高田 担当

映画『グラディエーター』のキャストがポリオ撲滅イベントに再集結

アカデミー賞受賞作品『グラディエーター』の主演俳優ラッセル・クロウさんをはじめとする出演陣が6月6日、ポリオ撲滅『End Polio Now』特別チャリティーイベントのため、イタリア・ローマのコロッセオに集まりました。



アカデミー賞受賞映画『グラディエーター』の特別上映に出席した俳優のラッセル・クロウとイタリア人サッカー選手のフランチェスコ・トッティ(場所:ローマ・コロッセオ)。イベントの収益金はポリオ撲滅活動に寄付されました。



シネ・コンサーツ(CineConcerts)制作、フォーラム・ミュージック・ビレッジ(Forum Music Village)提供による『グラディエーター・コンサート/コロッセオライブ』と銘打った今回のイベントでは、約20メートルのHDスクリーンに映画『グラディエーター』が映し出され、300人以上の観衆を魅了しました

『グラディエーター』の上映中に「End Polio Now」の飛行船がコロッセオの上空に登場。



上映に合わせ、ジャスティン・フリーア指揮による**イタリアン・シネマ・オーケストラ**と、共同作曲も手がけたボーカルの**リサ・ジェラルド**によるサウンドトラックの生演奏をバックに、対話と特殊効果を含む映像を映し出してイベントを演出。イタリアの女優でロータリーのポリオ大使も務める**マリア・グラツィア・クチノッタ**や、著名なシェフである**クリスティーナ バウアーマン**、地元のロータリアン、イタリア政府高官、そしてチケットの購入で今回のイベントに協力した『グラディエーター』ファンらがゲストとして招待されました。このイベントは、ローマ・



ノルド-エスト・ロータリークラブ(イタリア)所属の**アルベルト・チェッキーニ**さんの呼びかけにより実現しました。

ポリオ撲滅のチャリティーイベントでレッドカーペットに登場したイタリアの女優、**マリア・グラツィア・クチノッタ**。クチノッタさんはロータリーのポリオ撲滅大使も務めています。

ローマでのポリオ撲滅特別イベントに再集結した『グラディエーター』のキャスト。

50 万ドル以上に達した収益金は、ポリオ撲滅の取り組みに寄付されます。

この作品でアカデミー賞主演男優賞を受賞した**ラッセル・クロウ**も、共演者の**コニー・ニールセン**、**トーマス・アラナ**と共に登場。また、イタリア人サッカー選手の**フランチェスコ・トッティ**も所属チーム**AS ローマ**の選手と一緒に出席し、オークションに出品されたユニフォームにサインをしました。



イベント会場となったコロッセオでは『End Polio Now』オリジナルクッションを配布。



ジャスティン・フリーア指揮による**イタリアン・シネマ・オーケストラ**の演奏に合わせ、コロッセオで『グラディエーター』が特別上映されました。

コニー・ニールセンは次のように訴えます。「このイベントのおかげで、ラッセルをはじめとするキャストと再会できました。また、ポリオを永遠に撲滅するという国際ロータリーの取り組みについて人びとに伝えることができたと思います。私たちは、力を合わせて世界の人びとの生活をより良くすることができ、その責任があります。保健の推進はそのために不可欠です」